

いけだ かけはし No.78

議会だより

平成 23 年 7 月 15 日

発行／北海道池田町議会
編集／池田町議会広報特別委員会
〒083-8650 中川郡池田町字西1条7丁目
☎015-572-3161 FAX015-572-5158

第2回定例会
6月15日から23日

被災地「山田町」への支援派遣 1カ月延長の補正予算可決

第2回定例会は6月15日から23日まで開かれ、町長から3件の行政報告がありました。予算の繰越計算書に関する報告3件、継続費繰越計算書に関する報告1件、人事案件2件、条例改正1件、一般案件1件、財産の取得5件、補正予算6件、議会より農業委員の推薦、発議3件、意見書1件を原案通り可決しました。一般質問は4議員13項目行いました。

一般会計ほか5会計 補正予算

3月11日の東日本大震災により被災した岩手県山田町に対する支援の職



山田町に派遣された本町職員（上下とも）



員派遣を、4班編成により1カ月延長を行う東日本大震災被災地等支援事務事業費144万円、今年10月1日から指定管理者により眼科の専門外来を開設する眼科専門外来負担金808万円、戦略作物生産拡大関連基盤緊急整備事務事業費6658万円、就学援助費171万円などの補正予算を可決しました。

平成22年度繰越明許費に関する件

22年度、国の補正予算により地域活性化交付金（きめ細かな交付金・住民生活に光をそそぐ交付金）が創設されたことに伴い、防犯灯改修事業など24事業、また森林整備加速化林業再生事業補助金による池田中学校改築に伴う校舎・屋内運動場内装木質化事業、高島小学校ダムウエーター改修事業などの4事業併せて28事業、予算繰越額1億

7050万円、ブドウ・ブドウ酒事業会計、ワイン城支障木撤去工事70万円、水道事業会計、石綿セメント管更新事業3235万円について報告されました。

税条例の一部を改正する条例

東日本大震災に係る被災者等の負担の軽減を図ることを主な内容とした、地方税法等の一部を改正する法律が公布されたことに伴う改正です。

住宅や家財等に生じた損失について、損失額を22年度分の総取得額等から雑損控除でき、控除しきれない損失額については繰越期間が3年から5年に延長されます。

住宅借入金等特別税額控除の適用を受けていた住宅が、大震災により居住できなくなっても、控除対象の残りの期間、引き続き税額控除を受けられるなどの改正です。

※注1 繰越明許費…年度内に支出を終わらない見込みで、翌年度に限り繰り越して使用できるようにする予算。

財産の取得に関する件

北海道備荒資金組合の資金を活用し「総合行政情報システム」等の財産取得を可決しました。

○総合行政情報システム 9755万円

○総合行政情報システム 用端末1775万円

○戸籍システム 2468万円

○小学校（利別小・高島小）電算システム 723万円

○中学校電算システム用端末 839万円

農業委員会の議会推薦委員について

5月31日付けで中島嘉彦氏より辞職願が提出され、新たな委員を議会提案により推薦しました。任期満了に伴う推薦についても同意しました。

ながた 憲氏

固定資産評価審査委員の選任について

任期満了に伴い選任された委員について同意しました。

杉山 照氏（千代田）

小杉 茂氏（東1条）

第3回臨時議会

（3月30日）

大震災支援にかかると経費などを可決

東日本大震災による被災者の受入れ、支援物資を現地に搬送する費用、並びに岩手県宮古市・山田町に災害見舞金としてそれぞれ100万円の寄付など、22年度、23年度補正予算について、一般



山田町に出発する支援物資搬送車

会計ほか3会計を可決しました。

第4回臨時議会

（4月27日）

職員を被災地に派遣する費用などを可決

東日本大震災で被災した岩手県山田町に対し、人的支援のため職員を派遣する補正予算、出産育児一時金を恒久化するための国民健康保険条例の一部改正条例、国民健康保険税限度額・介護納付金分賦課・後期高齢者支援金分賦課限度額を引き上げる、国民健康保険税条例の一部改正条例など、7件の議案を審議し、可決しました。

第5回臨時議会

（5月10日）

町立病院の総称を「十勝いけだ地域医療センター」に改選後、初めて開かれ

改選後、初めて開かれ



完成間近の十勝いけだ地域医療センター

※第5回臨時議会報告のうち、正副議長選挙や新たな委員会構成などの記事を5ページに特集として掲載しました。

※注2 備荒資金…災害など予期せぬ事態に備えるために積み立てた資金。

意見書

関係機関に送付しました

◇JR三島・貨物会社に係る税制特例の恒久化等を求める意見書（要旨）

提案者 春井良夫議員

国鉄が分割・民営化され、JR7社が誕生した。JR東日本など本州三社は堅調な経営を確保し、株式を上場して完全民営化を果たした。しかし北海道などのJR三島会社とJR貨物については、経営基盤が脆弱で、経営自立を確保するめどが立っていない。本年度末に、経営支援策の重要な柱である固定資産税等の減免措置の特例が期限切れを迎える。これらの税制特例措置を恒久化し、当該各社の経営自立におけた安定的な運営と地域交通や鉄道貨物の確保におけた道筋を明らかにすることが必要である。JR三島・貨物会社に係る固定資産税、都市計画税を減免する特例措置を恒久化すること。以上を税制改正で実施するよう強く要望する。

一般質問

業務委託契約

再委託原則禁止の規則は守られているか

一部に不備があり 早急には正す

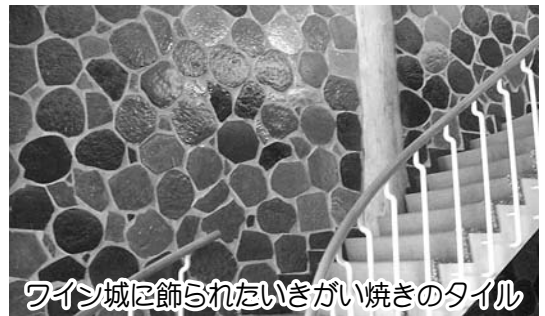
窪田議員 町の仕事を委託するとき、契約書を作成している。内容が履行されているかどうか、チェックしているか。また財務規則で原則再委託を禁止している。この点は守られているのか。

勝井町長 業務が履行されたかどうかは、現場の確認や成果品により検査している。再委託について一部で申請書が提出されず、承諾書も交付されていないケースもあるようなので、早急には正したい。

他の質問項目

「池田中学校改築工事について」

「消防の広域化について」



ワイン城に飾られたいぎが焼きのタイル

「健康づくりと子育て支援の強化について」

池田中学校新校舎

壁面などにいぎが焼きの陶板設置は

予算措置ないが、前向きに検討する

春井議員 いぎがいセンターは開設40年を迎えた。公共施設の壁にいぎが焼きのさまざまな模様の陶板を設置し飾って

た議会となる第5回臨時議会では、正副議長選挙の後、町長が提案した議会選出監査委員の選任に同意しました。

町立病院及び小規模介護老人保健施設を「十勝いけだ地域医療センター」と総称する病院事業の設置等に関する条例の一部改正条例のほか、補正予算2件を可決しました。

た議会となる第5回臨時議会では、正副議長選挙の後、町長が提案した議会選出監査委員の選任に同意しました。

いる。中学校の改築に伴い、在校生とお年寄りが制作した、いぎが焼きの陶板を校舎内のどこかに飾り残すことを考えてはどうか。

勝井町長 在校生の思い出や関係者の記念として、後世に残るような形で、いぎが焼きの陶板が利用できるれば、地域特性を生かした学校づくりができるのではないか。日程的に厳しいが、記念に残るいぎが焼きの陶板の設置を検討したい。

勝井町政の検証 政策と事業の検証 町づくりの柱は

第4次総合計画基本構想を柱に

赤間議員 勝井町政の10年8カ月間で実施してきた主立った政策や事業の内容を町長なりの検証・評価と、今後の勝井町政の意気込みと町づくりの柱となるものは何か。

勝井町長 大幅な交付税削減の中、職員の給与削減や町民の皆さんの負担増や交付金の削減と、厳しい行財政運営を強いられながらも、町立病院や中学校の改築に至った。柱は第4次総合計画の基本構想に定め、公共料金などの負担減に努力する。

役場内の職場環境

ハラスメントの実態と対策は

実態を確認し注意喚起した

赤間議員 各職場のハラスメントの実態と対策、健全な職場環境作りや住民サービス向上の取り組みはどうか。

勝井町長 アンケート調査により実態確認を行い、注意喚起した。提起された問題を早急に調査、対処し、今後も実態把握に努める。他の質問項目 「町管理職の現役派遣と

天下りの実態について」「ワイン城公営レストランに伴う、清算金によるふるさと元気事業の執行状況と今後の対応（成果）について」

「財政健全化による利別保育所民営化、並びに町立病院指定管理者制度導入に伴う、今後の物品等の納入に対する地元商店への町としての配慮等について」

「少子高齢化、並びに過疎化に伴う人口減少対策と、移住者促進の取り組みと対応について」

ワイン事業

技術指導は継続して進める

田井議員 ワイン事業を将来も守り育てるため、農業振興策の原点で生産者の指導を強化し作付面積の増加を図り、栽培の直営は作業効率、適期作業や経費削減から早急に見直すなど、生産者



作業中の直営ブドウ畑

が主役のブランド化を協働で進めるべきでは。

勝井町長 指導体制は十分でないが、導入時の技術指導を継続して進める。栽培部門の見直しは、生産と開発を分離し受け皿の育成も併せて検討したい。高品質のブドウ生産を基礎に生産者と共同で進めたい。他の質問項目 「住宅リフォーム促進奨励事業について」

第10代議長に中島嘉彦議員が就任

第5回臨時会が5月10日に開かれました。任期満了に伴う改選後初めての議会で、新人2人、現職10人で開会され、正副議長、各常任委員会など新たな議会構成が決まりました。

大本俊春議員が第20代副議長に当選

議長選挙は無記名投票で行われ、中島嘉彦議員(56歳・4期)7票、三坂一茂議員(53歳・4期)5票で、中島議員が当選しました。

引き続き副議長選挙も無記名投票で行われ、その結果、大本俊春議員(65歳・2期)が7票、白票5票で、大本議員が当選しました。



新議長に当選した
中島嘉彦議員

新副議長に当選した
大本俊春議員

議会選出監査委員に田井秀吉議員

勝井町長から、議会選出の監査委員に田井秀吉議員(61歳・4期)を選任する提案があり、起立採決の結果、原案通り同意しました。

委員会構成決まる

総務産業、文教厚生各常任委員会の委員や管内市町村が共同で実施する一部事務組合の議会議員などを下記の通り選出しました。(敬称略)

総務産業常任委員会

総務課、企画財政課、税務課、産業振興課、建設課、ブドウ・ブドウ酒研究所、農業委員会の各事務事業を所管します。

委員長 森田悦典	委員 合掌明海 永田 憲
副委員長 赤間 敏	窪田豊満 大本俊春

文教厚生常任委員会

町民課、保健福祉課、町立病院、教育委員会、上下水道課の各事務事業を所管します。

委員長 春井良夫	委員 丹羽泰彦 三坂一茂
副委員長 鈴木 元	田井秀吉

議会運営委員会

円滑な議会の運営のため、会期や議事日程など、さまざまな事項について協議し意見を調整します。

委員長 永田 憲	委員 丹羽泰彦 春井良夫
副委員長 鈴木 元	森田悦典

議会広報特別委員会

議会の一般質問や議案審議、委員会活動などを町民の皆さんにお知らせするため、議会だより「かけはし」を編集しています。

委員長 鈴木 元	委員 丹羽泰彦 赤間 敏
副委員長 大本俊春	田井秀吉

一部事務組合の議会議員

一部事務組合とは、管内市町村が行政サービスの一部を共同で行うことを目的として設置する組織です。議会が設置されており、本町議会では次の組合に議員を派遣しています。

十勝圏複合事務組合議会委員	中島嘉彦	東十勝消防事務組合議会議員	森田悦典
十勝中部広域水道企業団議会議員	中島嘉彦		大本俊春
十勝環境複合事務組合議会議員	中島嘉彦		中島嘉彦

委員会リポート

総務産業

定住自立圏構想について

少子高齢化に伴う人口減少、並びに三大都市圏への人口流出を食い止めるため、地方圏への人口定住を促進する国の政策として、全国展開されている定住自立圏構想について、十勝圏域においても



※総務省ホームページより転載。

帯広市を中心に19市町村で取り組まれており、内容を調査した。21年11月から十勝19市町村で構成する十勝圏広域連携推進検討会議などで、連携の可能性について検討され、22年11月26日に管内の市町村長により、オール十勝で定住自立圏の形成を目指すこと確認された。帯広市は22年12月15日の定例議会で「中心市宣言」を行い、十勝の全町村が賛同して、定住自立圏形成協定の締結に向けて検討されてきた。協定を締結した中心市と周辺市町村で形成される圏域全体に必要な都市機能や生活機能を確保する取り組みに対して各種財政措置がある。十勝圏では、各市町村から連携希望があった事業のうち「実施が可能なもの」として取りまとめた。生活機能の強化では、医療分野の2項目、福祉分野の2項目、教育分野

の2項目、産業振興分野の7項目、環境・防災分野の各1項目の計15項目、結びつきやネットワークの強化では、地域公共交通分野、地産地消の推進分野、移住・交流促進の3分野で各1項目の計3項目、圏域マネジメントの強化では、人材育成分野の1項目、合計19項目について、十勝管内19市町村が同時に6月議会へ協定締結議案を提案することとなった。本町では今年6月3日に所管事務調査を実施。内容の確認を行い、6月23日の第2回定例会で審議、可決した。7月初旬に定住自立圏形成協定の締結を帯広市と結び、8月にはパブリックコメントを実施し町民の意見を集める。また共生ビジョン懇談会などの設置を行い、本年度分の包括的財政措置の特別交付税の算定に向け、9月末までに十勝定住自立圏共生ビジョンを策定

し公表する予定になっている。 **文教厚生** **町立図書館の移転について** 現在の町立図書館は、当初昭和49年に社会福祉センター内で開館し、その後昭和63年に旧検察庁舎を改修して独立図書館として開館したものであり、以降20年以上が経過し、開架スペースや別棟書庫も手狭であり、資料・情報の充実を図ることが困難な状況である。また駐車場スペースの確保が不十分なことから、利用者からのさまざまな要望に応えられない状況が続いている。これからの図書館は、地域の実情をより考慮しつつ、多くの住民に愛され、図書館サービスを提供していくために方策を巡らす必要がある。こうした背景を踏まえ、22年11月には、2度

にわたり町民を対象とした「図書館意見交換会議」を開催したほか、22年12月から翌23年2月にかけて「図書館管理・運営及び図書館機能の充実に関するアンケート」調査を実施し、図書館に対する意見・要望等を聴き、整備方針などについて検討を重ねてきた。これらの経過を踏まえ、図書館サービスの新たな展開を図るとともに、町の文化を興し、文化を広め、未来に向かって発信する生涯学習拠点としての「池田町立図書館整備基本計画」を策定した。調査では、移転先として旧勤労青少年ホームが示された。予算が当初より増額されており、既存の移転先施設を有効利用し、必要最小限の経費で改築するように意見があった。アクセスの問題もあり、コミュニティバスの活用を図るなど利便性についても意見があった。

重 い 思 い

——議長就任のあいさつに代えて

第十代議長 中島嘉彦

今回の池田町議会議員改選にあたり、議長の要職に就くことになりました。責任の重大さを日々痛感しております。

8年前の改選と同様、無投票となり議員のおのの政策を訴える機会が少なく、また戦後初めてといわれる欠員が生じた結果は残念な事だと認識しております。

少子高齢化時代、人口減少社会に拍車がかかる中、地方自治を取り巻く状況も大きく変化してきており、議会の果たす役割も大変重要となっております。

町民の代表機関としての認識を常に自覚し、公正・透明を重んじ町民の皆様を理解、信頼される議会を目指します。

新人議員2人を加え町民も新しい風を期待している中、今後4年間、議会活性化のため前向きに取り組んでいきます。

町民の皆様、議員各位、行政のご協力をいただき、池田町の発展と円滑な議会運営のため一生懸命努力する所存です。今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

議会の主な動き

(3月開会の第1回定例会以降)

- 3月 4日 第1回定例会(執行方針・行政報告)
第1回議会広報特別委員会
- 11日 第1回定例会(一般質問)
- 13日 TPP問題を訴える十勝管内統一行動[議長]
- 14日 予算審査特別委員会
- 15日 池田中学校卒業証書授与式
- 15日 予算審査特別委員会
- 16日 予算審査特別委員会
- 17日 第1回定例会(議案審議)
- 18日 池田町文化賞及びスポーツ賞表彰式[議長]
- 23日 第2回議会広報特別委員会
- 18日 東十勝消防事務組合議会[議長]
- 26日 うめーるセンター美加登落成式[議長ほか]
- 30日 第3回臨時会
- 4月 1日 ゲートボール協会定期総会[議長]
- 12日 池田町農業構造政策推進協議会定期総会[総務産業委員長]
- 19日 池田町議会議員選挙(告示)
- 26日 池田町観光オープン式[議長ほか]
- 27日 第4回臨時会

- 28日 池田町議会議員当選証書付与式
- 5月10日 第5回臨時会
- 12日 原水爆禁止国民平和大行進[議長]
- 13日 十勝圏活性化推進期成会行財政環境委員会[議長]
- 15日 池田消防団第1分団春季演習[議長]
- 17日 第28回春季ゲートボール大会[議長]
[遊ゆう大学]入学式・始業式[議長]
- 18日 十勝町村議会議長会定例会[議長]
- 23日 東十勝消防事務組合臨時会[議長ほか]
- 25日 池田町老人クラブ連合会創立40周年記念式典[議長]
- 27日 池田町老連ゲートボール大会[議長]
池田町国際交流協議会定期総会[議長]
- 31日 十勝圏複合事務組合議会臨時会[議長]
十勝環境複合事務組合臨時会[議長]
十勝中部広域水道企業団議会臨時会[議長]
- 6月 3日 第3回総務産業常任委員会
第4回文教厚生常任委員会
- 7日 道東4地区議長会連絡協議会視察来町[議長]
- 10日 北海道議長会定期総会・研修会[議長]

あと書き

今回の改選、定数13に、1人欠員。町民の皆さんの複雑な思いと無念さ…。今後、議会のあり方・議会改革が当選議員の使命。◆大震災復興に、日本の技術・たくましさの世界各国が注目。頑張れ、日本・東北！池田町民の支援の輪！◆今年の夏？一昨年はマイマイガ、昨年は猛暑。なにがあっても、子供たちの元気な声が、未来への絆！広報特別委員会は2人の新人を含め5人でスタート。◆今期は委員長として、責任の重大さを実感しています。◆「かけはし」が皆さんの議会活動理解の一端を担い、正確に情報伝達できるよう、タイムリーで親しみやすい広報紙作成に尽力します。

鈴木元